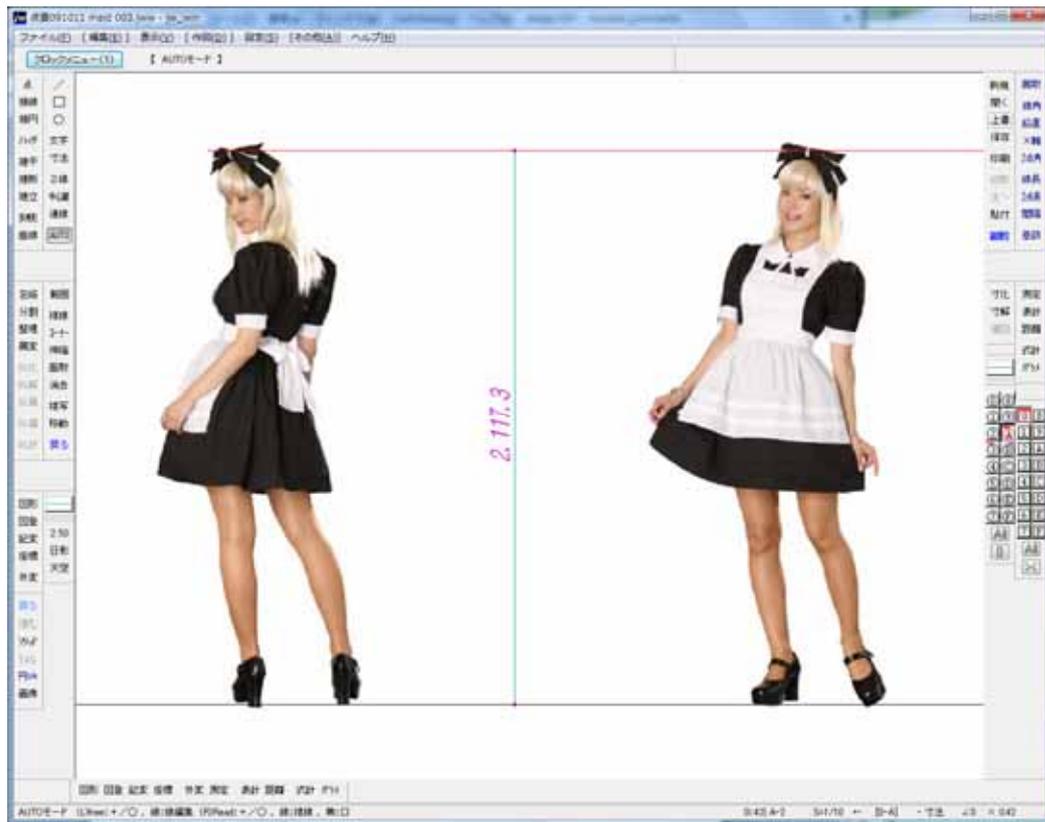




- CAD上で身長を測定する。

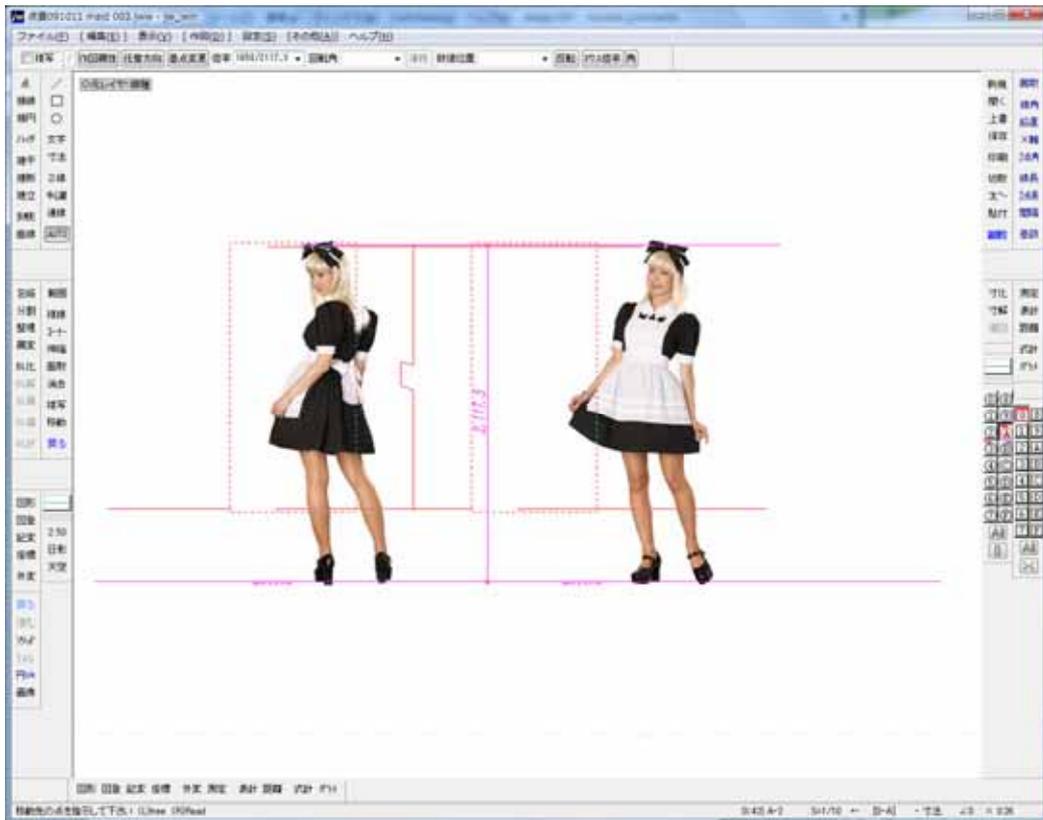


- 画像の身長が適正になるよう下記の表をサ参考に拡大する。

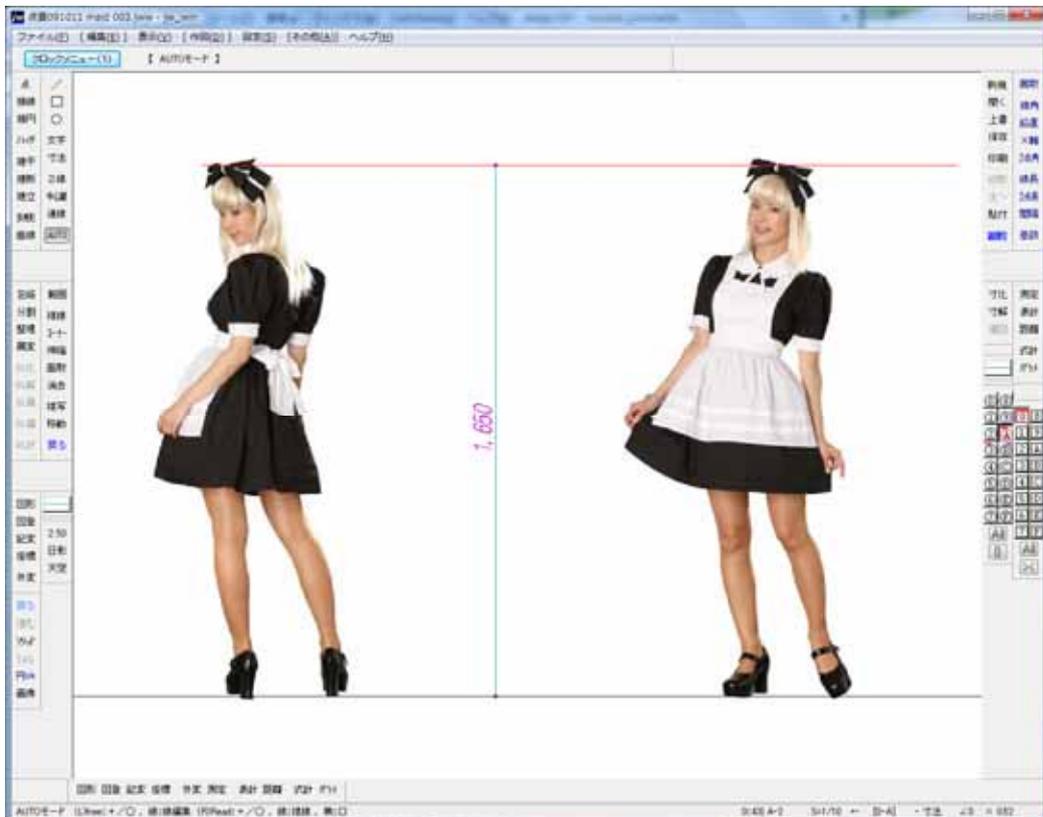
(参照 URL <http://www.pure-supplement.com/shintyo/002.html>)

(平成 20 年度学校保健統計調査)		
	平均身長 (男性)	平均身長 (女性)
17 歳	170.7cm	158.0cm
16 歳	170.0cm	157.7cm
15 歳	168.3cm	157.3cm
14 歳	165.4cm	156.6cm
13 歳	159.8cm	155.1cm
12 歳	152.6cm	152.1cm
11 歳	145.3cm	146.8cm
10 歳	138.9cm	140.3cm
9 歳	133.7cm	133.6cm
8 歳	128.2cm	127.5cm
7 歳	122.5cm	121.7cm
6 歳	116.7cm	115.8cm
5 歳	110.8cm	109.8cm

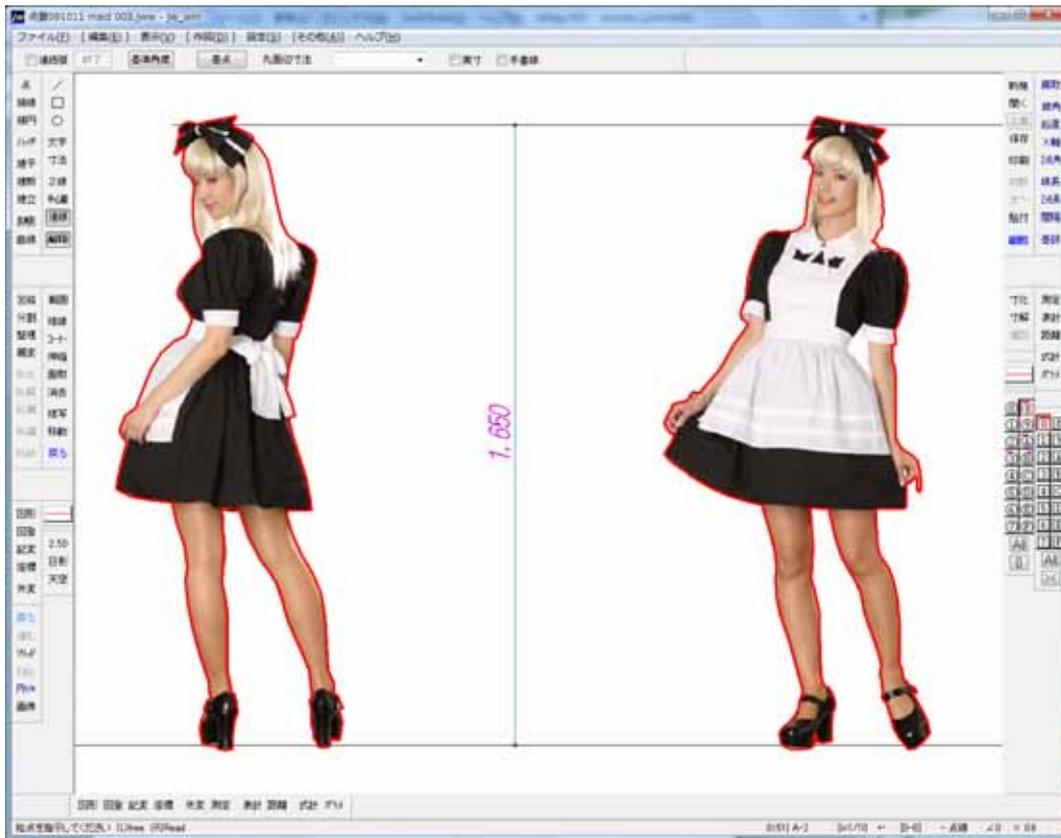
- ・移動コマンドで全てを選択し倍率に（適正身長／測定値）倍する（今回は  $1,650 / 2,117.3$  と入力しています。）



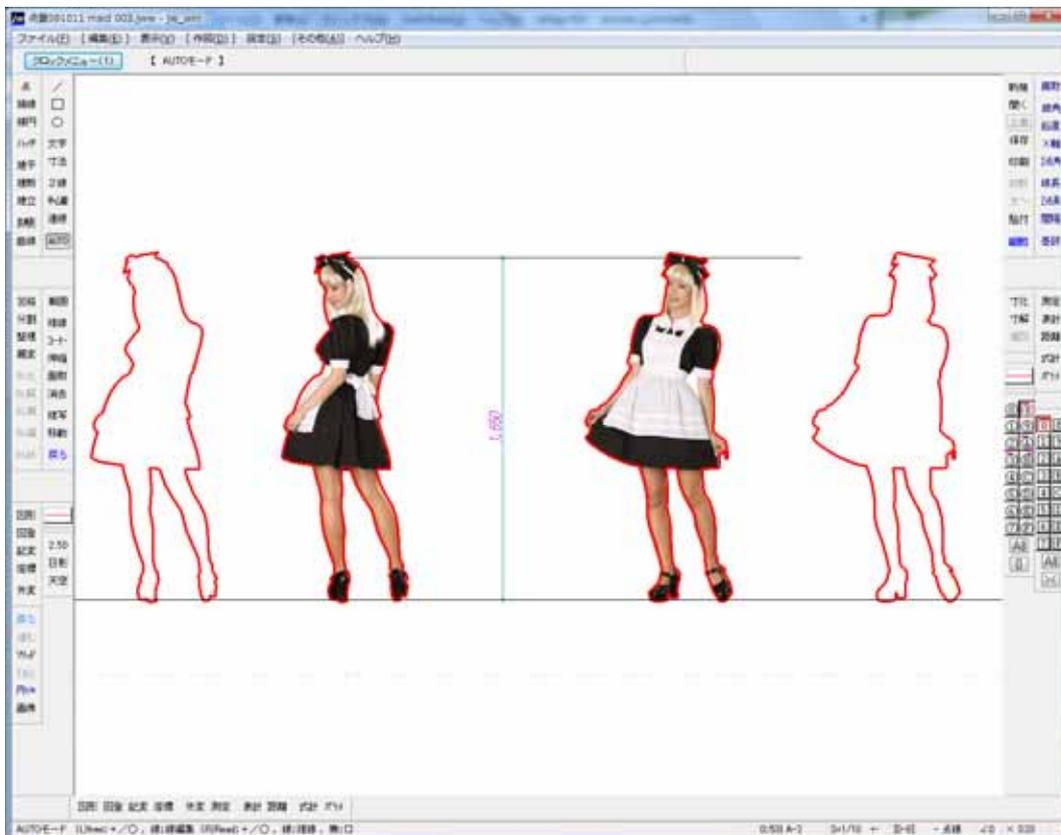
- ・適正な身長に変更された。



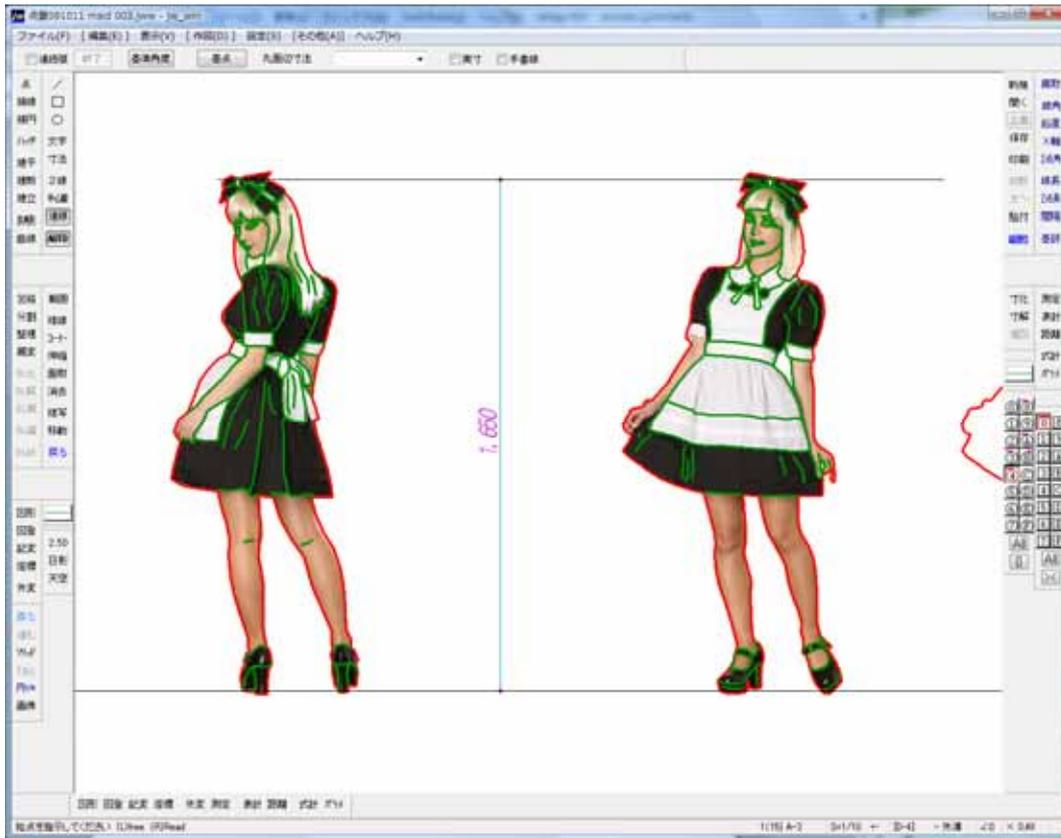
- 画像を貼り付けたレイヤ以外で、線の色を見やすい色に変更するか線の表示を太くして人物画像の外郭を連側線を使用しトレースする。



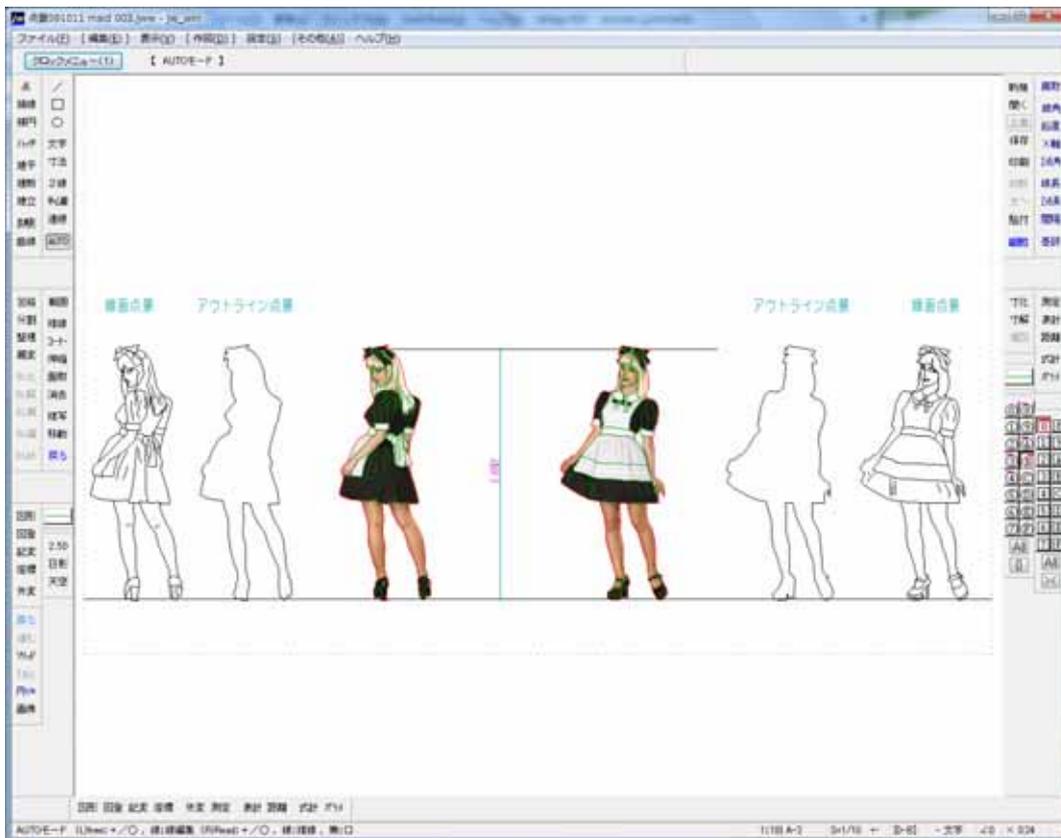
- 外郭線は **outline** の点線として利用するので複製して置く。  
(複製した外郭線を曲線属性化する＝複数の線をグループ化した状態)



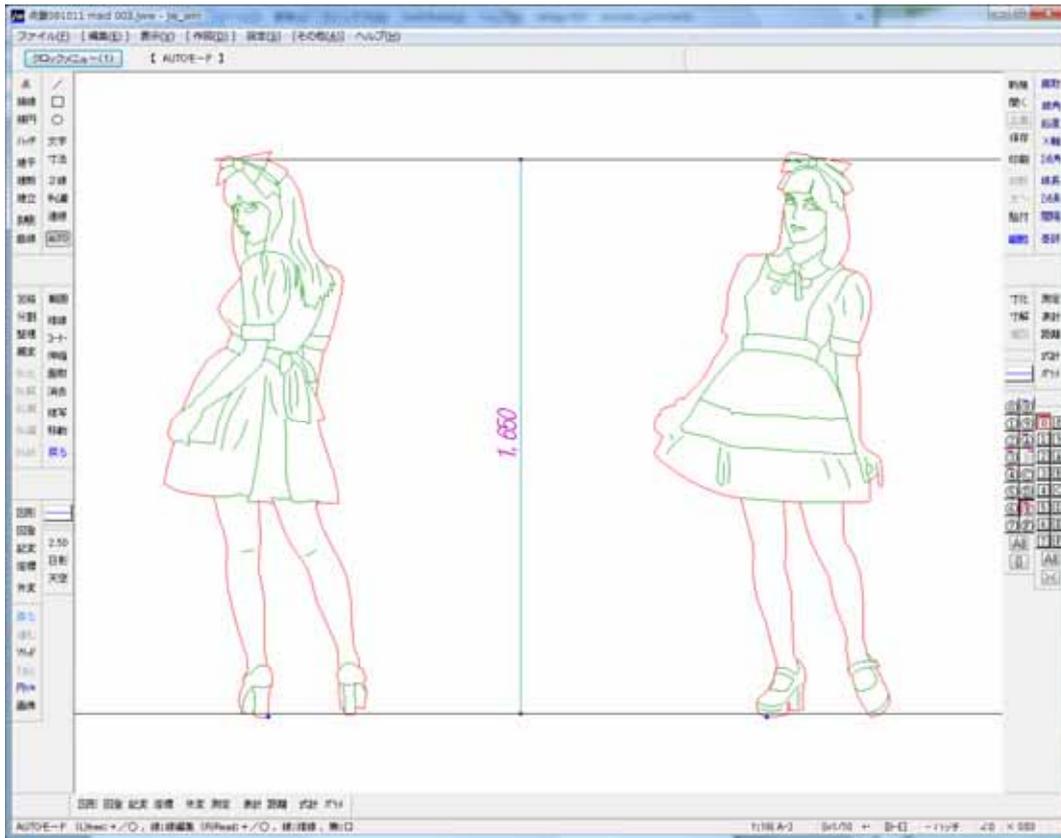
- 中の線を画像に沿ってトレースする。



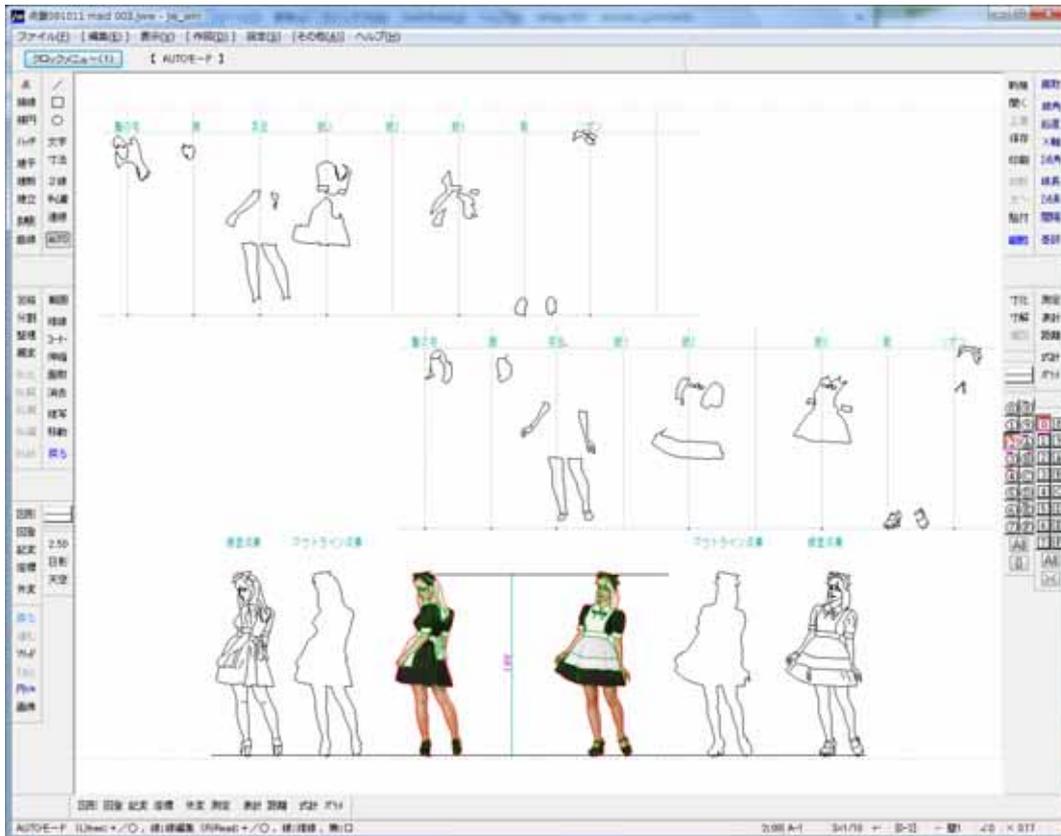
- 線画としての点景として利用するので複写しておく。  
(複写した線を曲線属性化する)



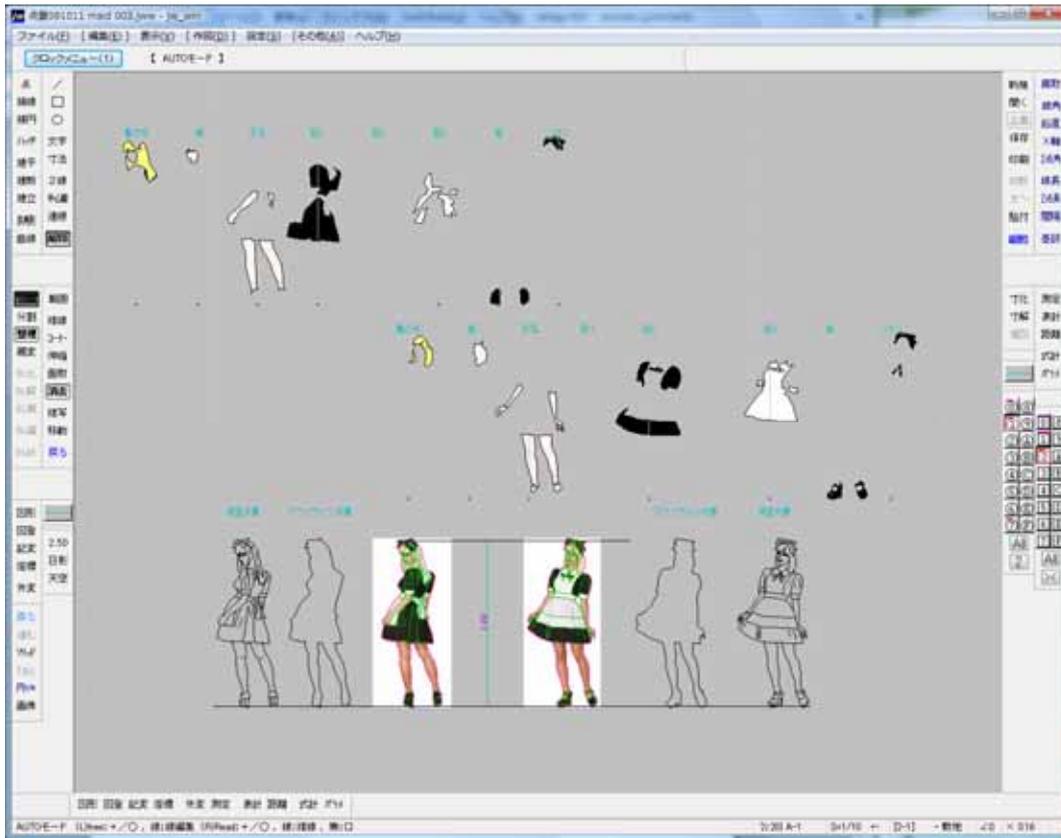
- ・足元付近に基点となる点又は線を記入しておく。



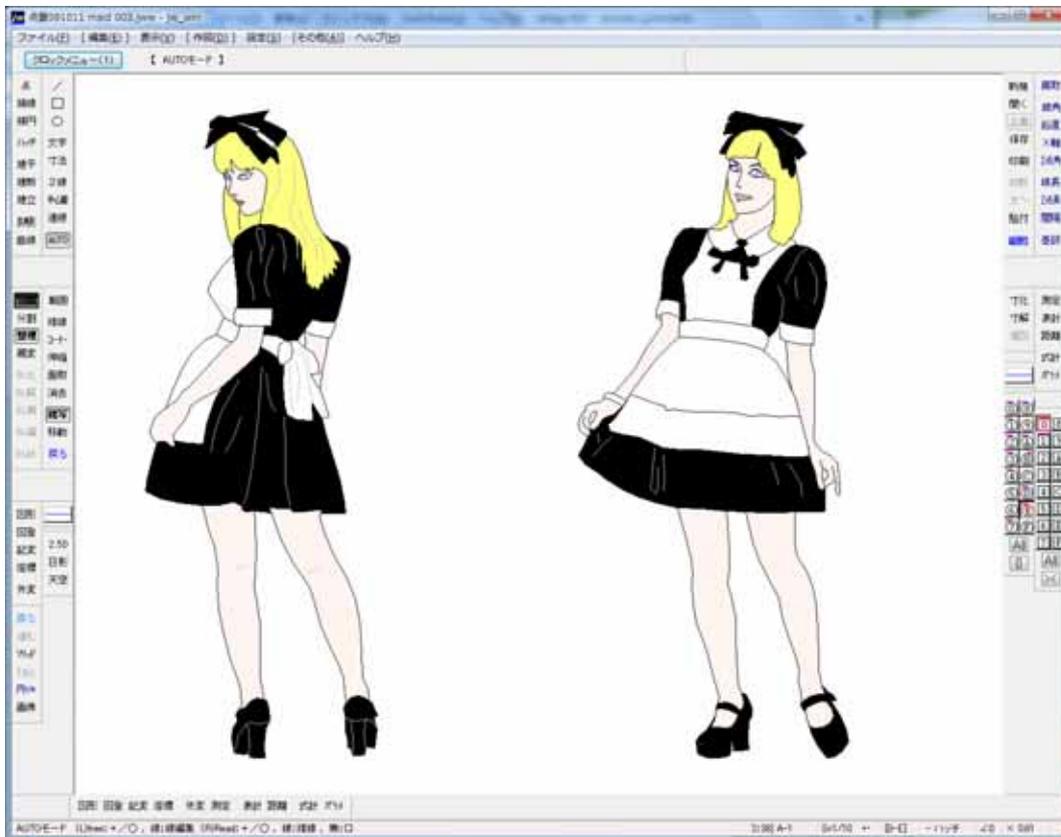
- ・要素ごとに分けるので要素の数だけ複製する。(JW用の点景のため)  
 (髪・顔・腕・脚・靴・上半身服装・下半身服装・持ち物など)  
 複製したデータの各要素ごとに必要な線以外を削除する。



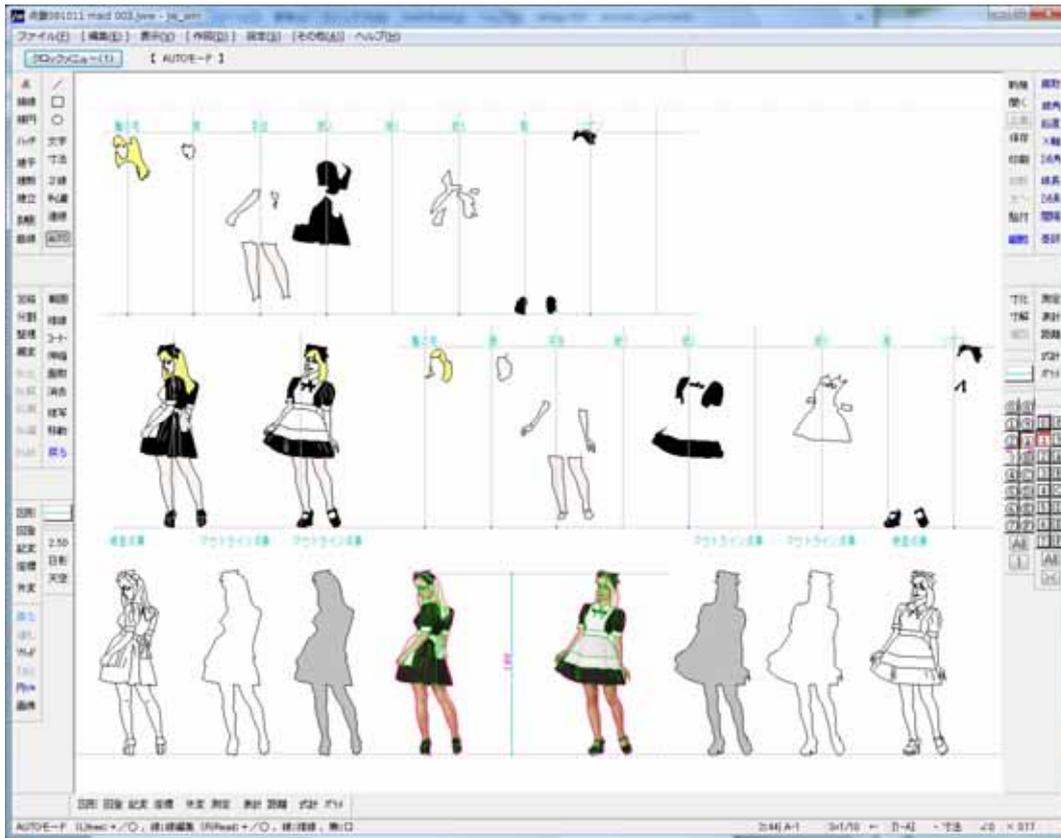
- ・ソリッドで着色



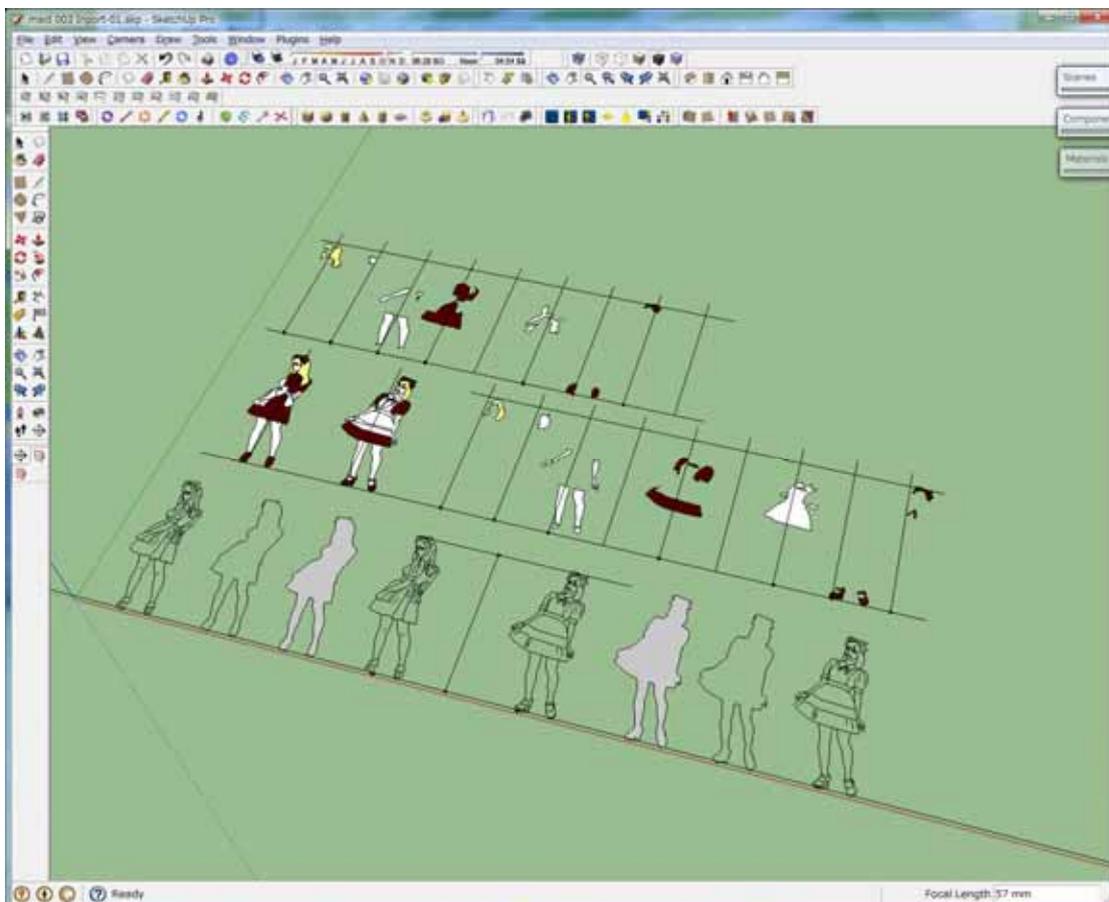
- ・各部位を基点を元に集め、線画と合成する。



JWW としての点景が完成した。  
アウトライン、線画、着色の点景を図形登録しておく。

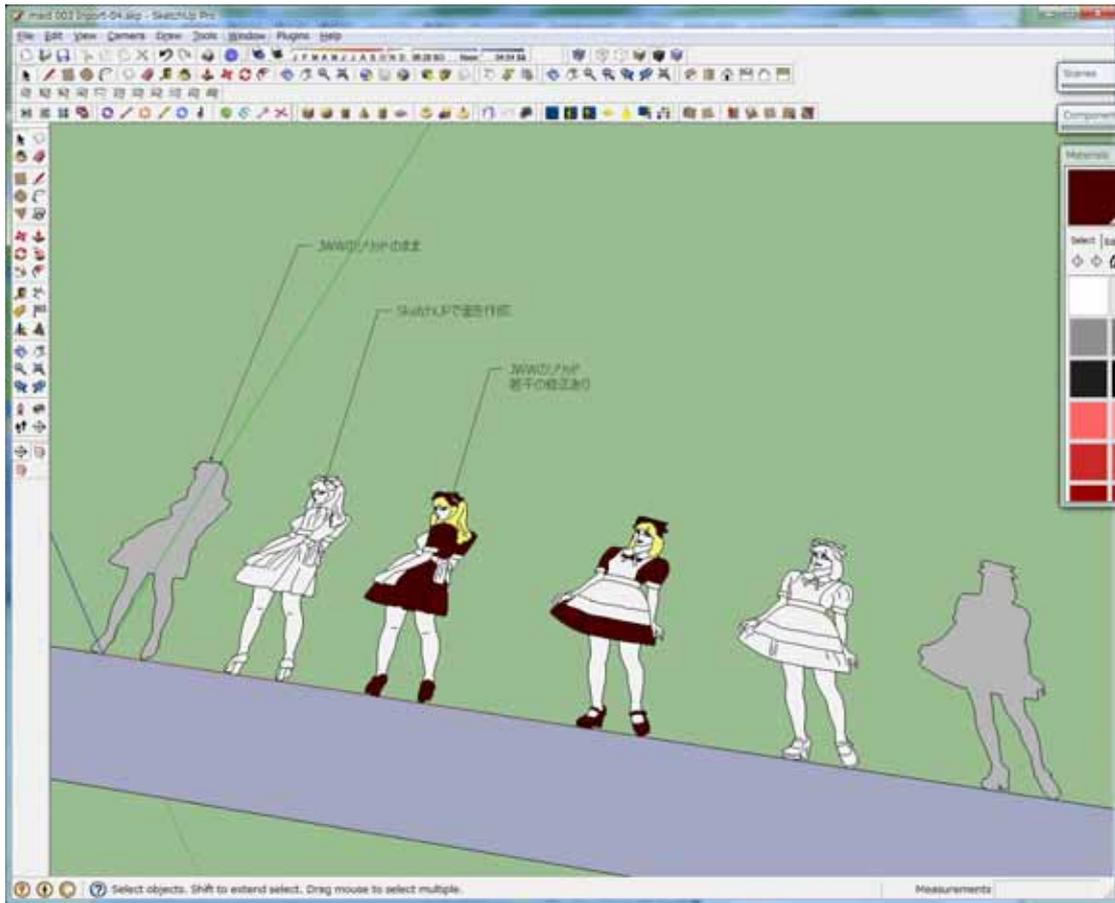


・DXF ファイルとして保存し、SketchUP で DXF ファイルをインポートする。

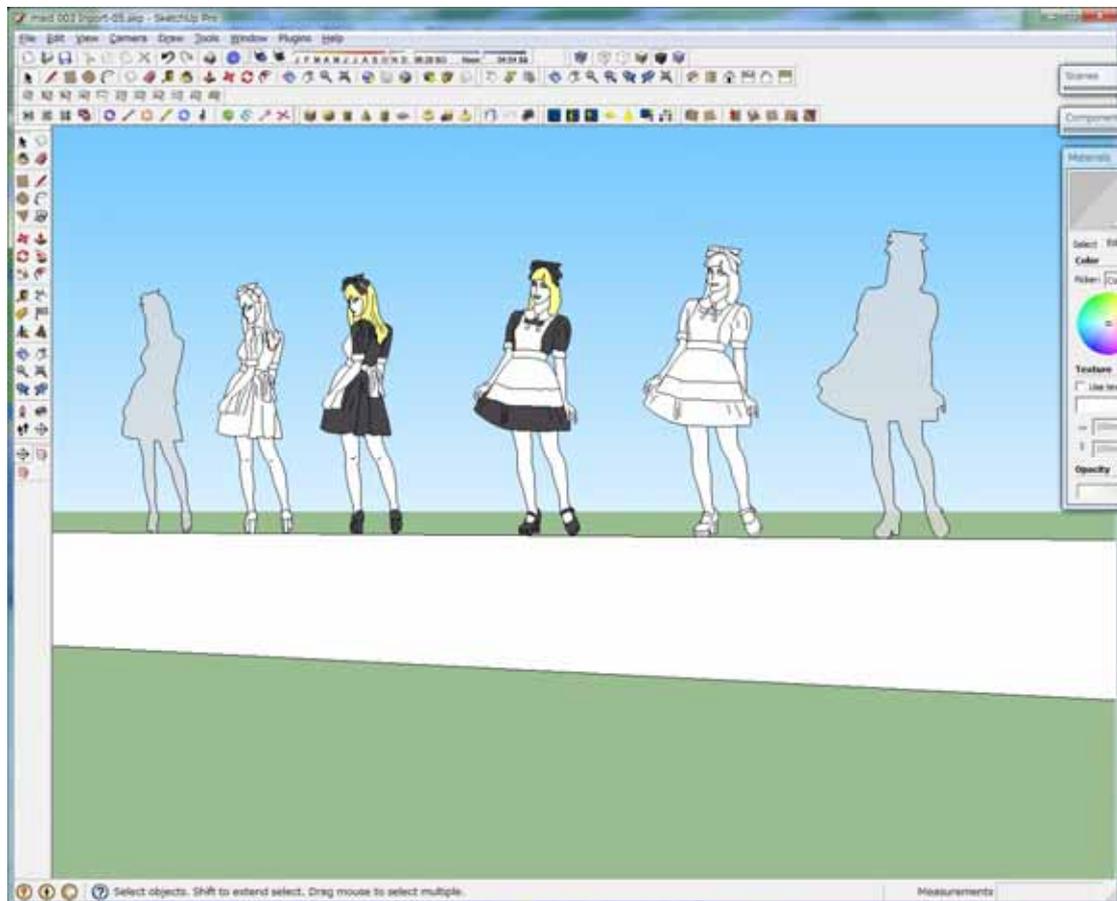


JWW のソリッドが面として認識されてインポートされている。  
 (一部不具合もあり) (面が作成されていない部分は修正する)

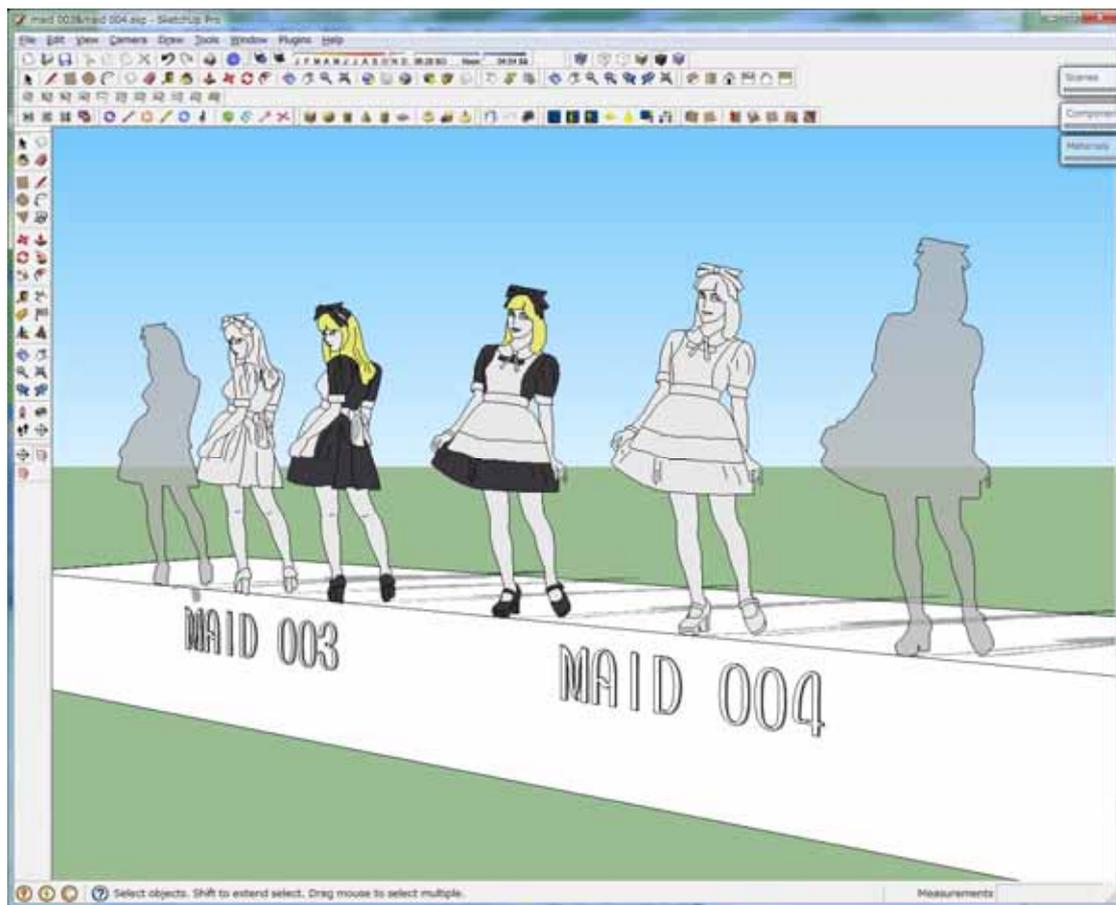
- JWW からのソリッドの不具合は若干修正が必要  
(SketchUP で面を作成しマテリアルを適用する方がいいのかも)



- 90° 回転させる。



- それぞれコンポーネント化する。



- 完成